

平成20年度 主要事業一覧

◆耐震補強事業 1億4,990万円

東海地震などの大規模な地震等の災害に備え、公共施設の耐震化を行い児童の安全・安心な教育環境づくりを推進しました。また今年度の事業実施により、学校施設の耐震化は100%になりました。

※事業実施内容 北小：連絡通路耐震補強等改修工事
長中：連絡通路耐震補強等改修工事
北中：連絡通路耐震補強等改修工事
町民体育館：耐震補強実施設計
勤労者体育センター：耐震補強等改修工事

◆落橋防止・耐震補強事業 5,250万円

東海地震による落橋や倒壊を防ぐため、竹原陸橋および城山橋の落橋防止工事、中橋の主桁補強工事を行い安全・安心なまちづくりを推進しました。

◆住宅用火災警報器設置促進事業 1,601万円

住宅火災における逃げ遅れの死者発生を防止するため、有効な住宅用火災警報器の設置を促進するために器具の購入に対し助成を行い、住民の安全な生活環境づくりを推進しました。(助成件数：1,644件)

◆こども医療費助成事業 1億5,042万円

こどもの疾病を早期に発見し、適切な治療を受けさせることにより疾病の慢性化を予防しました。また、平成19年度より医療費の助成対象を小学校就学前から小学校3年生まで拡大し、子育て支援を推進しました。

◆心身障害児放課後対策事業 839万円

保護者が労働等により昼間家庭で保育できない心身障害児を対象として、放課後の活動の場所を提供し、児童の健全な育成および保護者の負担軽減を図りました。

◆小学校理科支援事業 468万円

児童の理科離れが進む傾向のなか、理科に対して児童が意欲や関心を持つ環境づくりを進めるため、各小学校に理科支援員を配置し、理科教育の活性化と充実を図りました。

◆水と緑の杜公園整備事業 5,803万円

桃沢川の溪流沿いに位置する水と緑の杜公園において、自然環境を活かした癒し空間の創出を図るため、園内に散策路吊り橋等を設置し、うるおいのある環境を整備しました。

◆特別支援教育活動費 2,505万円

①特別支援教育補助員（各小学校に3名ずつ、各中学校に1名ずつ配置）

小学校および中学校の普通学級に在籍するLD（学習障害）やADHD（注意欠陥多動性障害）等の障害のある児童生徒に対し、学習活動の支援や日常生活の介助等を行い学校教育の充実を図りました。

②特別支援学級補助員（各小学校に1名ずつ配置）

特別支援学級の児童生徒数の増加、障害の重度化および多様化に伴い、特別支援学級に補助員を配置し、一人ひとりの教育ニーズに応じた教育の充実を図りました。

③特別支援教育専門員（教育委員会に1名配置）

担任、特別支援教育コーディネーター、保護者など障害のある児童生徒の支援を実施する者の相談を受け、児童生徒が必要とする支援の内容と方法について、専門的立場から指導・助言をする特別支援教育専門員を常勤で配置し、特別支援教育の一層の充実と推進を図りました。

◆放課後児童館整備事業 6,694万円

放課後児童会入会待機児童の解消対策として、長泉小学校と北小学校において放課後児童館をそれぞれ新設（追加）し、子育て支援を推進しました。

※長小：ひなげし児童会、北小：すずらん児童会

◆健康づくり施設等用地取得事業 3億3,518万円

健康づくり拠点施設の整備を進めるにあたり、旧株パブコが所有していた土地を静岡県土地開発公社の代行買収により先行取得してもらい、平成20年度から平成26年度までの7年間で返済します。また、隣接していた下土狩連合区所有の土地も取得し、健康づくり拠点施設の用地取得を進めました。

◆農産物生産資材価格高騰緊急対策事業 270万円

肥料、飼料および農業用燃料の価格高騰に伴う緊急支援対策として、農業団体等に対しそれらの購入費の一部を助成することにより、町内農業経営者の経済的負担軽減を図りました。

◆街路整備事業 5億6,776万円

町の北部地域に整備が進む東駿河湾環状道路へのアクセスとして、町の東西交通の骨格となる都市計画道路池田柵線の整備、また町の南北交通の骨格となる都市計画道路高田上土狩線の整備を行い、都市基盤整備を推進しました。

◆町道城山尾尻線改良事業 270万円

県立静岡がんセンターが開院以来、大幅な交通量の増加とともに、歩行者等の通行が危険な状態となっているため、歩道を整備して、歩行者等の安全確保および周辺施設への交通利便性の向上を推進しました。